

研究者名：山川 冬樹（大学院複合芸術研究科 准教授）

研究課題名：ハンセン病におけるボディイメージと表象の研究～療養所内と外との文化芸術の比較から

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：令和5年度～令和6年度

【研究概要】

本研究では、ハンセン病療養所内で患者らによって営まれてきた文化芸術活動にみられる患者及び元患者自身のボディ・イメージと、療養所外の作家らによる文化芸術活動で表されたハンセン病の表象とを比較することによって、急速な近代化の中で発展してきた我が国の文化芸術を、「ハンセン病」というオルタナティブな視座から、「身体」という普遍的モチーフを軸に、調査・分析し、再批評・再定義する。